



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に41人が登壇

新市長の政策
「産業復活！
商都春日部」について



中川 朗
議員

市長は選挙公約の中で「新たな産業を誘致するために、市長自ら企業へトップセールスを行う」としていますが、旧春日部市においては、地域振興拠点施設の建設が長年の懸案事項となっております。

「地域振興ふれあい拠点施設」は、「産業文化センター」から名称が変わるとともに、施設整備計画、内容等も変化し、相当な時間と労力を費やしながらも遅々として進展が見られません。この整備を進めるに当たっては、まさに企業へのトップセールスを行って、産業を誘致することも大きなポイントになると思います。今後の計画の具体的な進め方について伺います。

市長

地域振興ふれあい拠点施設については、県が設置した再検討委員会の提言の中で、生活関連産業の振興と地域住民の活動・交流の促進を行う複

合拠点施設として整備すべきとの方向が示され、民間の事業参画を基本とした検討が行われてきました。今後の整備につまましては、隣接の民間商業施設との連携や鉄道高架事業をはじめとする他の公的プロジェクトとの整合を図りながら、県とともに検討を進め、さらに、民間の参画意向等を把握する中で、必要があれば、自ら積極的にトップセールスを行ってまいります。

このほか
「すぐやること」について
「教育・福祉・医療」について

環境保全都市宣言に向けて



河井 美久
議員

市長就任の所信表明で、生命の源である地球を、将来を担う子どもたちに引き継ぐことができ、環境に配慮した環境保全都市を目指す」と宣言され、選挙公約の中でも、2

年以内に環境保全都市宣言を行うとしています。市長の提唱する環境保全都市宣言は、

一自治体としても草の根からの地球環境保全に努め、市民の意識を高めるといふ点で有意義な宣言であると思います。市長がお考えの環境保全都市宣言について考え方を伺います。

また、環境保全都市宣言をするに当たり、その実効性を高めるために、公用車については、市長自ら率先して環境に優しい自動車を導入することについて考え方を伺います。

市長

環境保全都市宣言は、本市の環境を守り育て、次世代に引き継いでいくことを内外に向けて宣言し、行政、市民生活や事業活動を行っていくあらゆる場面で環境への配慮を行うことを目的とし、環境に優しいまちづくりを推進するものです。環境保全都市宣言は、環境保全に対する意識や動機づけの有効な手段です。春日部市環境保全都市宣言の実現に向けて検討してまいりたいと考えます。また、公用車の低公害車導入につきましましては、財政状況を勘案しながら導入を検討していきたいと考えます。

このほか
財政再建について

住居表示の早期
実現について



飯田 力
議員

武里地域の住居表示事業は一ノ割・備後地区で完了し、次に、大場・大畑・大枝・中野地区の住居表示の推進が承認され、自治会の役員さんとの協議の中で、長年活用してきた地名を残すべきとの意見が出され、調整がとれなかつたと聞いています。

この事業の一番の課題は町名の決定、区域割りであり、人口の多い地域である武里駅周辺を中心に、総合的に計画し、実施可能な地域から事業を進めるべきだと思います。住居表示の早期実現について、市の積極的な意見を伺います。

市民部長

武里地域の住居表示は、自治会長や役員の皆様との協議や、住民説明会の中で、長年親しんだ地名を残すべきとの強い意見が出され、地元の合意が得られなかつた経緯があります。

地域住民の住居表示の強い要望もあり、再度住民の皆様と呼びかけ、早期実施に向けた働きかけを推進してまいりたいと考えます。

市長

住居表示は、地元住民の方々のコンセンサスが必要であり、地元でまとめていただければ、住居表示の実施につきまして、市としても労を惜しみません。

このほか
武里駅東口地域の早期の環境整備の実現について
庄和地域とのアクセス道路について

夜間防災訓練の
実施について



栗原 信司
議員

災害はまさにいつ起こるかわかりません。10年前の阪神大震災は、寒さ厳しい1月17日の午前5時46分。昨年の新潟中越地震は、10月23日午後5時56分。早朝や日没という時を選ぶことなく訪れる災害に対して、人災としての被害が拡大しないように、例年行

われている総合防災訓練や地区別防災避難訓練を日中だけに限らず、夜間訓練も実施するべきと思うが、市の見解を伺いたい。

総務部長

新潟県中越地震は夕方5時56分と暗くなってきた時間に発生したことから、被災地では夜間における応急対応や夜間の避難生活を余儀なくされることとなり、夜間に備えた防災訓練が、大変重要であったと認識をしたところでございます。

本市としては、夜間の防災訓練を実施することにつきまして、自主防災組織や防災関係機関等の協力を得た中で実施していく必要があります。

今後、夜間防災訓練の実施方法、訓練内容、実施に当たつての留意事項、協力体制など実施するための情報収集や調査を行い、夜間防災訓練の実施に向け検討してまいります。

このほか

豊町方面にバスを
ドッグランの設置について
国民健康保険被保険者証のカード化について
公共料金のクレジットカード払いについて

庄和総合支所の権限強化を！
予算の配分・決裁権を与えよ！



福田 晃子
議員

10月1日の合併以来、2カ月が経過した中で、庄和地域住民から「こんなはずではなかった」という声が寄せられています。グラウンドゴルフの会場を借りるのに今までは役場に申し込めばよかったのに、わざわざ市役所まで行かなければならなくなつた。非常に不便になつた。「これまで正風館（公民館・コミュニティセンター・勤労福祉センターから成る複合施設）で許可されていた飲食（酒）が禁止された。ひどい。」等々の声があがっています。合併の基本理念である「対等合併」「サービスは高く、負担は低く」に基づく住民サービスを保障していただきたい。

また、庄和地域住民へのきめ細かな住民サービスを提供していくためには、庄和総合支所に対して予算の配分と実効ある決裁権がどうしても必要と考えますが、ご見解は。

都市整備部長
庄和総合公園の使用は1月から庄和総合支所でも対応できるようにしたいと考えます。

社会教育部長

正風館の使用については庄和地域のこれまでの経過を考慮して使用方法を検討します。

総合政策部長

サービスマンで支障を来たところがないよう、庄和総合支所の組織・運営のあり方を考える中で、予算の配分、決裁権について検討してまいります。

このほか
南桜井駅南口地区整備事業について



庄和総合支所

ユリノキ通りの 延伸について



阿部 喜一
議員

藤塚橋の交通渋滞解消のためにも上流と下流に新たに架橋すべきと平成3年度より13年間叫び続けて参りました。ついに昨年ゆりのき橋として開通いたしました。

春日部市として豊野地域としても都市機能の向上並びに経済的効果を含め、庄和地域との一体化と共に活気ある新市の玄関口として、利便性と新たな交通網の整備等を含め両地域の繁栄発展の更なる可能性を視野に入れ、当然の事ながらこのユリノキ通りを延伸すべきものであり、都市計画道路（仮称）春日部庄和線の呼応を耳にするところであり、延伸についてお伺い致します。

都市整備部長

この事業効果は、春日部地域と庄和地域を結び、都市の一体化、春日部駅中心市街地及び南桜井駅周辺の副都心の利便性の向上が図られます。

計画につきましては現在、国・県並びに河川管理者などの関係機関と協議中です。

今後の見通しにつきましては、関係機関との協議完了後、地元説明会を開催し、平成18年度に都市計画を決定し、平成19年度以降に事業認可を取得し、合併特例債を活用できる平成27年度以内の完成を目標に事業に着手してまいります。

このほか
豊野地区バス運行の経過、
薬師沼経由赤沼地区延伸について



ユリノキ通り

新春春日部市の市政経営 への意識改革について 具体的な施策は



福岡 正男
議員

市長の選挙公約にある市政経営については、厳しい財政状況の中で、限られた人材を有効に活用し、コスト意識を持つて財政を改革したいという内容であると理解するところである。

市政経営と意識改革についての考え方としては、行政は最大のサービス産業であり、市内で一番の優秀な企業にする使命と、意識改革が必要であると思うが、いかがか。市民ニーズを的確につかみ、職員が責任をもって最善の方法を見つけて事業を推進し、市民にはできるだけ高い品質のサービスを、できるだけ多く提供する知恵を絞るのが市役所の使命であり、それが市政経営であり意識改革につながるのではないか。

また、市長が言う経営感覚やコスト意識を持つのであれば、例えば公民館の使用料や循環福祉バスが無料だが、こ

の無料というのは、一考の価値があると思うがいかがか。

市長

市政経営については、職員が事務事業の目的や具体的な内容はどのようなものなのか、どの部分を改善、工夫すればよいのかという問題意識を持つことが重要であり、問題意識を持つことが職員の創意工夫を生み、職務遂行能力の向上につながるかと考えています。また、公共施設等の有料化については平成18年度中に検討を行うこととしています。

このほか

合併公約について

新生・春日部市の 将来像について



会田 幸一
議員

春日部市は24万3千人の新市となり、市長は合併による新市誕生は、改革の最大のチャンスと捉え3点の基本姿勢を表明しました。新市においてはソフト、ハード両面に課題が累積していると思えます。そこで、現状の春日部市を新市長として、将来像を見据え

た場合、どのように現状認識をしているのかお伺いいたします。市長は、旧春日部市と旧庄和町の一体感の醸成を重視しています。どのようなまちづくりをしていくのか、鉄道高架と庄和中央部地区開発の取り組みについて伺います。

市長

新市建設計画を反映した施策を実行に移す事が重要であると認識している。今後策定する春日部市総合振興計画の中で、新市建設計画をはじめ今までの旧市町の総合振興計画の内容を精査し、市民が誇りと愛着の持てるまちづくりを進めるために春日部らしさを重視した総合振興計画の策定に取り組んでいく。鉄道高架などによる春日部駅周辺の中心市街地の発展が不可欠であり、早期実現に取り組む。庄和中央部地区は、交通の利便性が高く、産業系の立地が可能であり、民間活力の推進を進めたい。併せて新たな春日部市総合振興計画基本構想の策定にあたって、全市民的に土地利用計画を見直し、商業・産業の振興を図りたい。

このほか
今後の行政運営に市民の声をどの様に活かしていくのか

市長選挙公約について



利根川吉蔵
議員

新生春日部のための3つの基本姿勢について伺います。

1 点目として「行政に信頼を生活環境に安心安全を」について、各種審議会の委員等で、同じ人が多種の委員に就任している現状についてどう考えますか。また、生活環境という面で、犬のふん公害について、条例化をして厳しく対応すべきと思いますが、どう考えますか。

2 点目の市政の経営について、職員の発想や意見を取り上げるといふことに対して、どう取り組んでいきますか。

3 点目の「日本一子育てしやすいまちの推進と、商都復活」について、子育てにおいて行政のできることには限界があると思いますが、どれだけのことができるかと考えますか。また、商都復活という面で観光行政が重要となりますが、どう考えますか。

市長

各種審議会については、それぞれに対し、市民公募委員を入れていきます。ふん公害については、マナー向上の啓発運動に努めてまいります。

市政経営については、職員の発想を奨励し、最終的な責任は市長にあるという自覚を持って政務にあたります。

子育て支援については、社会全体で支援していくことが不可欠で、経済的支援の充実のほか、地域コミュニケーションの活性化や企業との連携も重要と考えます。また、観光行政については、観光協会とともに推進してまいります。

庄和地区の図書館建設は平成19年度オープンを目指せ!



殖木 武次
議員

旧庄和町民の「図書館」への思いは、13年来の悲願です。旧庄和町教育長の毛塚治子氏は図書館設置基本計画書の中で、「私は、森の中の庁舎を継承した「森の中の図書館」として公園に遊びに来る多くの方や小・中学校・大学生の学習の場や交流の場、そして

庄和地域、西金野井第二土地区画整理事業の早期完了を



高橋恵美子
議員

西金野井第二土地区画整理事業は、平成2年度から平成14年度終了予定で始まりましたが、これまで4回の見直しが行われ、現在は平成20年度終了の予定で進められています。事業は90億円の事業費に対して、7割が終了しています。この事業は公共団体施行であり、地権者の合意を得て、国の認可を受けたもので、予定通り終了させる責任が自治体に課せられます。

特に地権者にとっては、事業が終了するまで土地区画整理法の下での権利制限を受けることとなります。地権者の願いは事業の早期完了です。江戸川スーパー堤防事業との関連が出た場合も、予定地外を早期に終わらせる等、全力で取り組んでいただきたいと思っています。

市街地整備担当部長

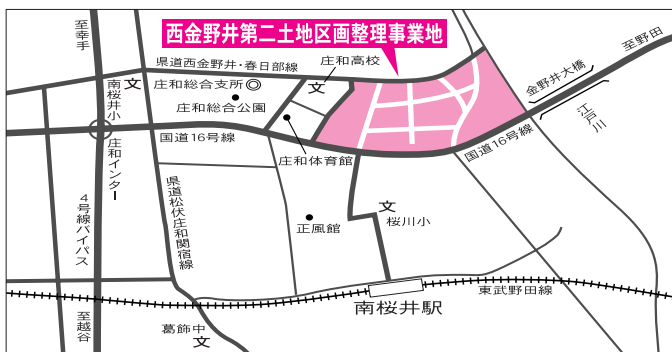
この事業が公共団体施行であり、計画的に事業を完成す

ることが望まれていると認識しています。現在、国が予定している江戸川スーパー堤防事業との共同化に向けて調整を行っているところですが、国のスーパー堤防の盛土による国道16号線等への影響調査等の調整に時間がかかるため、平成18年度中に住民説明会、地元の意向を踏まえ、意思決定を行いたいと考えています。スーパー堤防との共同事業になると区画整理とは別に3年ぐらいの事業期間が必要です。

このほかスーパー堤防について市有バスの活用拡大を

議員報酬問題

このほか水道料金について



春日部駅周辺にかたよった
大規模開発は見直しを



卯月 武彦
議員

東武線の立体交差化とともに、春日部駅周辺の大規模な開発が計画され、来年度、都市計画の変更を行って進められようとしています。

市役所前と内谷陸橋、大踏み切りの3本の通りを4車線に拡幅し、東口市街地整備などが計画され、当面合併プロジェクト事業として180億円が見込まれていますが、最終的な費用は計り知れませんが、このまま進めれば、いつそ財政を悪化させ、福祉やくらしの財源が圧迫されることとなります。

鉄道さえ高架になれば渋滞などの問題はほとんど解決するものと考えられます。3本の4車線道路など必要以上の開発は見直すべきではないでしょうか。

都市計画の変更の前に、総事業費を含めた計画を示し、市民アンケートを実施するよう要望します。

都市整備部長

西口に大規模商業施設ができることなどから交通量の増加も予想されます。

また、広幅員の道路は、火災の延焼防止、災害時の緊急用道路としての活用など、安全なまちづくりを行うために必要と考えています。

市長

市の発展にとつて必要な事業と考えています。

スケジュールや財政面を検討しながら進めていきたい。

このほか

保育所の待機児解消など子育て支援充実を

職員の意識改革と
市民の期待に応え得る
組織機構の整備



山口 保
議員

市民の要望や期待に十分に対応できる職員の意識改革について、職員に対する教育方針はどのように進めようと考えておりますか。企業派遣や講師を呼んでの研修等についても伺います。

また今後も予想される厳しい財政状況の中で、市民の期

待に応える組織機構の整備について具体的にお示し下さい。

総務部長

職員の意識改革を行うには、研修によることが最も効果的、効果的であると考えます。研修は、公務員が全体の奉仕者として、常に市民の立場に立つて業務を執行しなければならぬということを再認識させる機会であると考えます。

市長

具体的には、企業派遣についてはコスト意識を高めるため、いろいろな企業に研修の場を与えていただくよう協議して参りたいと考えます。また、外部講師によるものとしては、危機管理能力を高める研修等を引き続き実施していきます。

このほか

現在の組織機構については、合併により市民サービスが低下しないよう、本庁と総合支所の方式で編成しました。

今後は、合併の効果を十分に生かし、新市建設計画の実現を目指す組織として、行政課題に迅速かつ的確に対応できるよう適時検討し、市民の期待に応える組織機構の整備を進めてまいります。

このほか

環境に配慮した環境保全都市を目指してとは

公園の施設整備及び
利用状況について



富樫 清年
議員

最近の公園は、子どもたちよりも、高齢者の方々が健康づくりの一環としてゲートボールやグラウンドゴルフを楽しんでいる方が多いと思います。また、障害者の方も元気に運動や散歩ができるよう、ノーマライゼーションの理念のもとに人に優しいまちづくりとして、公園入り口のバリアフリー化の推進を期待します

が、現在バリアフリーになっていない公園は、いづごろまでに改修できるのか伺います。

また、小さいお子さんが真っ先に遊ぶ砂場については、犬や猫が入らないようネットで囲むなどの取り組みをしていると思いますが、砂場の管理について伺います。

都市整備部長

公園入り口のバリアフリー化については、高齢者や障害者が安心して利用できるように、段差解消、手すりの設置など埼玉県福祉のまちづくり

条例を基本として整備を進めているところですが、今後も予算の範囲内で整備を進めてまいります。

砂場については、年1回砂を取り出して、除菌ならびに攪拌、砂の補充などを行っています。また、試験的に犬・猫防止ネットを6カ所に設置していますが、今後も予算の範囲内で設置し、砂場の維持管理に努めてまいります。

このほか

セーフティステーション活動について
ユリノキ通りの延伸整備について



公園のバリアフリー化を

子育て支援について



石倉まち子
議員

放課後児童クラブの保育時間延長については、既に保護者からも陳情書が出されていますが、保護者の勤務時間帯とクラブの開始時間に差があります。そのため、学校休業日にクラブへ預ける際、開始時間前のために、保護者は勤務時間に間に合うように子どもを家庭に置いて、出かけています。子どもの安全を考えると、このような状況はとても心配です。保護者が安心して子どもを預けて勤務先に行けるよう、保育時間については通常の学校授業日は30分延長し、学校休業日は前後30分ずつの延長を提案いたします。

福祉部長

放課後児童クラブの開室時間を延長してほしいという要望があることは、お聞きしています。合併により、開室時間や運営方法等の調整を兼ねて延長する方向で検討中です。また、事件・事故から子ども

を守るため、指導員の勤務時間の範囲内で開室時間前に室内で待機していただくなど、児童だけで校庭にいたることがないように対応しています。

市長

放課後児童クラブや保育所の整備は、働く親にとって子育てと仕事の両立支援の重要な要素です。放課後児童クラブの保育時間の延長については、父母会からの要望を踏まえ延長する方向で検討してまいります。

このほか

老人大学について
旧沼端小跡地について



放課後児童クラブ

市長の退職金20%カットについて



松本 浩一
議員

市長は選挙で、すぐやることのひとつとして「市長の退職金を20%カットします」と公約しました。この公約を出した理由は何ですか。

市長の退職金は、一期4年で2068万5千円と非常に高いと思います。

しかし、退職金だけをカットすることは法的にも手続き上もむずかしく、給料の月額98万円5千円をカットしなければできません。毎月の給料はカットしないのですか。

退職金20%カットは、市長の選挙公約のすぐやることのひとつです。そのためには、18年の3月議会に「春日部市の特別職の給与に関する条例」の改正案を出して、議会の議決を経なければなりません。退職金20%カットをしなければ、選挙公約違反となりませんが、どうですか。

市長

退職金カットは簡単にでき

と思っていました。選挙で公約したのは、市長の退職金は高すぎるという市民感情に配慮したためです。公約実現のために担当部に退職金がカットできるよう指示を出しました。

現在、埼玉県市町村退職金共済組合とも協議し検討しています。

このほか

新市長の今後の市政に対する基本姿勢について

2年以内に「市が独自に教員を採用し、新生春日部市として特徴のある教育を推進します」との公約について

小・中学生の自然体験事業、社会体験事業等の目的と成果



竹ノ内正元
議員

昨今、非行犯罪の低年齢化、凶悪化が指摘されており、背景の一つとして、自然体験や社会体験が不足しており、その結果、人と上手に関わっていく社会性が育っていないことが指摘されております。

市では小中学生海外派遣事業、小学生自然体験事業、中

学生社会体験事業を行っております。私も毎年中学生を受け入れておりますので、共に体験の持つ意義を改めて実感しております。また、これらを通じ21世紀を担う児童生徒の育成が図られているものと評価しております。

そこで、これら体験事業の成果と今後の方向性について伺います。また、教育は国家百年の計といわれるように未来への投資であります。子ども達の可能性と将来性に投資をするという考え方について教育委員会の見解を伺います。

学務指導担当部長

体験事業を通じ、小学生は命の大切さや、人とのふれあい等を学び、中学生は、成就感あるいは自分を律する強い心等が育てられていることが成果と言えます。今後も事業の継続充実を図って参ります。

教育長

子ども達の将来に投資するという考え方は、教育行政を担当する者の信念として大事であると考えます。体験活動を充実させることは将来の市民、国民としての基礎を築くものだと確信しております。

このほか

消防行政について

道の駅「庄和」の
更なる充実と行政の
積極的な支援を



川鍋 秀雄
議員

道の駅「庄和」については
オープン以来指定管理者であ
る商工会のもとで順調な運営
がされてきております。

今後の管理運営上、指定
管理者又は株式会社道の駅
「庄和」が独自で行う事業投
資、又、事業の内容によって
は当然行政が財政的にも支援
すべきものと思うが。

又、今後の施設の発展の
鍵を握るのは、いかに国道16
号から集客するかにかかって
いると思う。そこで看板等の
設置を再検討すべきと思うが。
4号バイパスからの視界
が、工事発生土砂や樹木の仮
植で非常に悪い。早急に撤去
していただくよう国へ要望す
べきと思うが。

今後新生春日部市の地産
地消、農業振興の拠点として
重要な役割を果たすものと考
える。旧春日部地域より供給
の要望があれば、現在の出荷
者と調整の上応じるべきと思

環境経済部長
施設の管理運営上、問題
や課題が生じた場合、協議の
上、良好かつ円滑な運営が図
られるよう可能な限り支援し
たい。

現在14カ所設置されてい
るが見づらい点もあり、今後
鋭意努力していきたい。

提言の通りであり、今後
土砂の盛土、樹木の撤去につ
いては関係機関に強く働きか
けていきたい。

要望があれば応えていき
たい。



道の駅「庄和」

道の駅「庄和」への
支援策について



水野 悟
議員

平成17年3月にオープンし
た道の駅「庄和」は、地域の商
業と農業の活性化の拠点とし
てスタートしました。指定管
理者制度により庄和町商工会
が引き受けをし、商工会が行
うのは全国でも初めてである。
道の駅の事業計画について
は、商工会内で平成14年度か
ら、道の駅事業委員会を立ち
上げ、3年間にわたり調査、
研究をした経緯があります。

計画当初は、PFI方式の導
入に向けて協議をし、その後、
指定管理者制度の導入に変更
をし、今日に至っています。
現在は、指定管理者において、
施設等で足りないものや修繕
は、年間の収支バランスを考
慮して実施しているが、今後
において、指定管理者では賄
えないような支出が予想され
る時に、設置者である市とし
ては、どのような支援を考え
ているのか伺います。

環境経済部長

施設の管理運営上で問題、
課題が生じた場合には、道の
駅「庄和」の管理運営に関す
る協定事項を踏まえ、適宜、
指定管理者と協議を行います。
良好かつ円滑な施設管理運営
が図られるように、市として
も、可能な限り支援をしてま
いりたいと考えています。

このほか

春日部区域における商業タ
ウンマネージメント(TMO)
構想の概要、及び庄和区域の
中心市街地活性化基本計画の
推進について
安全で安心して暮らせる街
づくりについて



武 幹也
議員

行革を考えた
指定管理者制度と
外部委託について

自治体を取り巻く財政環境
は、依然厳しく、本市も例外
ではありません。今定例会総
務委員会において指定管理者
導入指針の策定が提出された
わけですが、2010年まで
の計画を伺います。さらに、
本市の定年退職者の推移を見
ると平成19年度末から年間50

名以上となり、平成28年度末
まで続き、この間672名の
退職者が見込まれています。
新市建設計画において11年で
229名の職員純減を計画さ
れているが、純減目標が低す
ぎではないか伺います。

総合政策部長

指定管理者への移行は、平
成18年9月1日までに1施設、
平成19年4月1日までに17施
設の予定です。平成18年度中
に全ての施設、時期の検討を
終了したい。放課後児童クラ
ブは平成18年9月1日から導
入し、心身障害者リサイクル
ショップとデイケア施設の2
施設は早急に決定。平成18年
度末には「集中改革プラン」
の公表と議会への提出を考え
ています。外部委託や指定管
理者の考え方は、今後の行政
運営の効率化を考えると更な
る推進が必要です。職員純減
目標は早期に達成したい。

市長

民間のコスト意識を参考に
市民サービスが低下しないよ
う配慮しながら、民間活力の
導入を推進してまいりたい。

このほか

防災行政無線について
本庁舎のエレベーターとウ
ィングハットの点字案内板